

川崎結生さん(自然科学研究科環境科学専攻・博士前期課程 1 年)が雪氷研究大会(2024・長岡)において学生優秀発表賞の最優秀賞(口頭発表部門)を受賞しました。

令和 6 年 9 月 16 日から 9 月 19 日にかけて新潟県長岡市にて開催された雪氷研究大会(2024・長岡)(主催:日本雪氷学会・日本雪工学会)において,自然科学研究科環境科学専攻 災害環境科学コース・博士前期課程 1 年の川崎結生さんが学生優秀発表賞の最優秀賞(口頭発表部門)を受賞しました。

この賞は,学生優秀発表賞セッションにおいて,優秀な発表(研究内容,発表の質)を行った日本雪氷学会及び日本雪工学会の学生会員に授与される賞です。

川崎さんは,「新潟県における大雪の出現頻度と出現時期の近年の変化」と題する口頭発表を行い,新潟県における 1989 年以降の極端な大雪の特徴や変化傾向に関して,出現頻度,出現時期,降雪量の点から詳細な分析を行った結果を分かりやすく説明しました。この研究から得られた多くの新知見は,近年頻発している大雪による車両の大規模な立ち往生などの対策を検討するうえで重要であり,研究成果が今後の雪氷災害の防止対策に活かされることが期待されます。

指導教員:災害・復興科学研究所 河島克久 教授

関連学会や研究内容 URL

公益社団法人日本雪氷学会 <https://www.seppyo.org/>

雪氷研究大会(2024・長岡) <https://sites.google.com/view/2024jcsir>

